

平成二十八年 城下町「からつ」俳句コンクール作品選

選者 日本伝統俳句協会評議員

唐津観光俳句会長 田邊虹志 選

特選一句

四方より朱夏の風くる天守閣

福岡県

太田禎子

入選三句

花散るや巡る城跡の石畳

福岡県

永富佑子

唐津城藤の香りを放つ頃

東京都

内川頌子

秋雲の迅さに天守閣動く

福岡県

梅津よね

佳作十六句

新緑の木々垣間見る唐津城

福岡県

岡山凜里花

弓なりの砂州の松原夏に入る

鹿児島県

西村正一郎

唐津くんち引き子は二才女の子

佐賀県

副島由紀子

火の消えしストーブ見つむ金吾像

福岡県

伊藤倫子

梅雨空にきらりと光る唐津城

東京都

片岡靖高

海風と松の緑に天守閣

福岡県

平井裕子

青松に抜ける涼風城下町

鹿児島県

原井弘美

台風の去りてまぶしき天守閣

東京都

城所賢一郎

舞鶴の白砂涼しや天守閣

福岡県

神尾 瞬

梅雨の天守斜めに登るエレベーター

福岡県

中島直四郎

初デート紅葉も色づく唐津城

大分県

赤峰由里絵

松原に落つる城影蟬の声

佐賀県

高橋えりな

矢挟間より見ゆる松原春めけり

佐賀県

古川唐水

古の薫りくる秋曳山館

佐賀県

佐々木貴賢

二度三度訪ねる城の風ぬくし

愛知県

板倉 合

唐津城月の灯りに酔いしれる

福岡県

黒木智子